



ホワイトボード

秋の自然物置き場

・木の実・落ち葉 など

秋の自然物置き場

・ペーパー芯 ・空き容器
・糸 ・ストロー
・つまようじ ・竹ぐし など

材料置き場

集まる場所

危険コーナー (キリを使う机)

危険コーナー (キリを使う机)

本コーナー

道具置き場

・テープ
・ハサミ
・ペン
など

〈ドングリやじろべえ〉

⑤ 1年生がつくったやじろべえに興味を持ち、つくりたい気持ちを持っている。教師は、つくり方を1年生に聞くように促したり、どうすればバランスのよいやじろべえになるのかを一緒に考えたりする。

① 「見てみてコーナー」にあったやじろべえを参考に、自分の力でつくりあげている。教師が称賛することで、やじろべえの面白さに気付かせるとともに、それをみんなに伝えたいという思いを持ち、自分なりの工夫を考えることができるようにする。

〈ドングリごま〉

⑤ 1年生から刺激を受けて、自分でもつくったり、回して遊んだりしている。つくり方や回し方に悩んでいるときには、1年生に聞いてみるよう促し、かかわりのきっかけをつくる。

① ドングリごまのつくり方やこまなどに気付き、回転が長く持続するこまをつくっている。ドングリバトルができる道具を近くに置いておくことで、遊んでみて、みんなと遊ぶことの面白さに気付かせたい。

〈秋のアクセサリ〉

⑤ つくったドングリネックレスを身に付けて喜んでいる。つくったアクセサリでお店をしたいという思いを持っている子がいるので、必要な道具を提案したり、場を設定したりする。

① 5歳児と楽しくドングリのネックレスをつくっている。アクセサリ掛けに着目させ、お店をつくって遊ぶことに関心を持たせたい。

〈秋のケーキ〉

⑤ 木の実などをボンドで飾ることを楽しんでいる。教師は、個々の工夫を認める声掛けを行い、よさを周囲に広めていく。

① 秋の自然物でケーキづくりを楽しんでいる。教師が称賛することで、みんなに喜んでもらいたいという思いを持つことができるようにし、秋のケーキ屋づくりに活動を発展させることができるようにしたい。

〈秋のお店〉

⑤ 1年生がつくり始めたお店にまだ関心を持っていない。関心を持つ子がいたら、中継ぎをして参加を促す。

① 秋のお店のための看板づくりをしている。段ボールや長い筒を用意し、お店の形をつくるよう促し、お店遊びの面白さを感じさせ、5歳児や1年生と一緒に活動できるようにしたい。

〈秋の楽器〉

⑤ つくったドングリマラカスを音楽に合わせて振ることを楽しんでいる。教師は、楽しい雰囲気になるように遊びの一員になったり、楽器づくりの提案をしたりする。

① ドングリの音の違いに気付いたり、マラカスとゴムを組み合わせたりして、楽器づくりに夢中になっている。楽器を使って遊んだり、秋の自然物が鳴らす音に着目させたりして、みんなと楽しむことができる遊びを考えさせたい。

〈ドングリピタゴラ〉

⑤ 壁にペーパー芯などを貼り付けてコースをつくり、ドングリが上手に転がるか試しながらつくり変えている。教師は、アイデアの面白さを認める声掛けを積極的に行う。

① トイレットペーパーの芯に秋の実を付けて、ピタゴラ装置づくりを楽しんでいる。長い筒を近くに置いておき、ピタゴラを大きくしたり、隣の壁ピタゴラやドングリ転がしチームと合体させたりして、みんなと遊ぶことのできるピタゴラづくりができるようにする。

〈ドングリ転がし (ドングリスライダー)〉

⑤ 段ボールを使ってドングリ転がしのコースをつくったり、つくったコースにドングリを転がしたりして楽しんでいる。子ども同士のかかわりを見守りつつ、機を捉えて中継ぎしていく。

① 竹の皮でドングリスライダーを楽しんでつくっている。竹の皮をたくさん置いておくことで、つなげて長くしてみんなと楽しめる遊びへと発展できるようにする。また、ドングリ転がしやピタゴラに目を向かせることで、よさを取り入れたいと思ったりできるようにする。

入口

入口

入口